

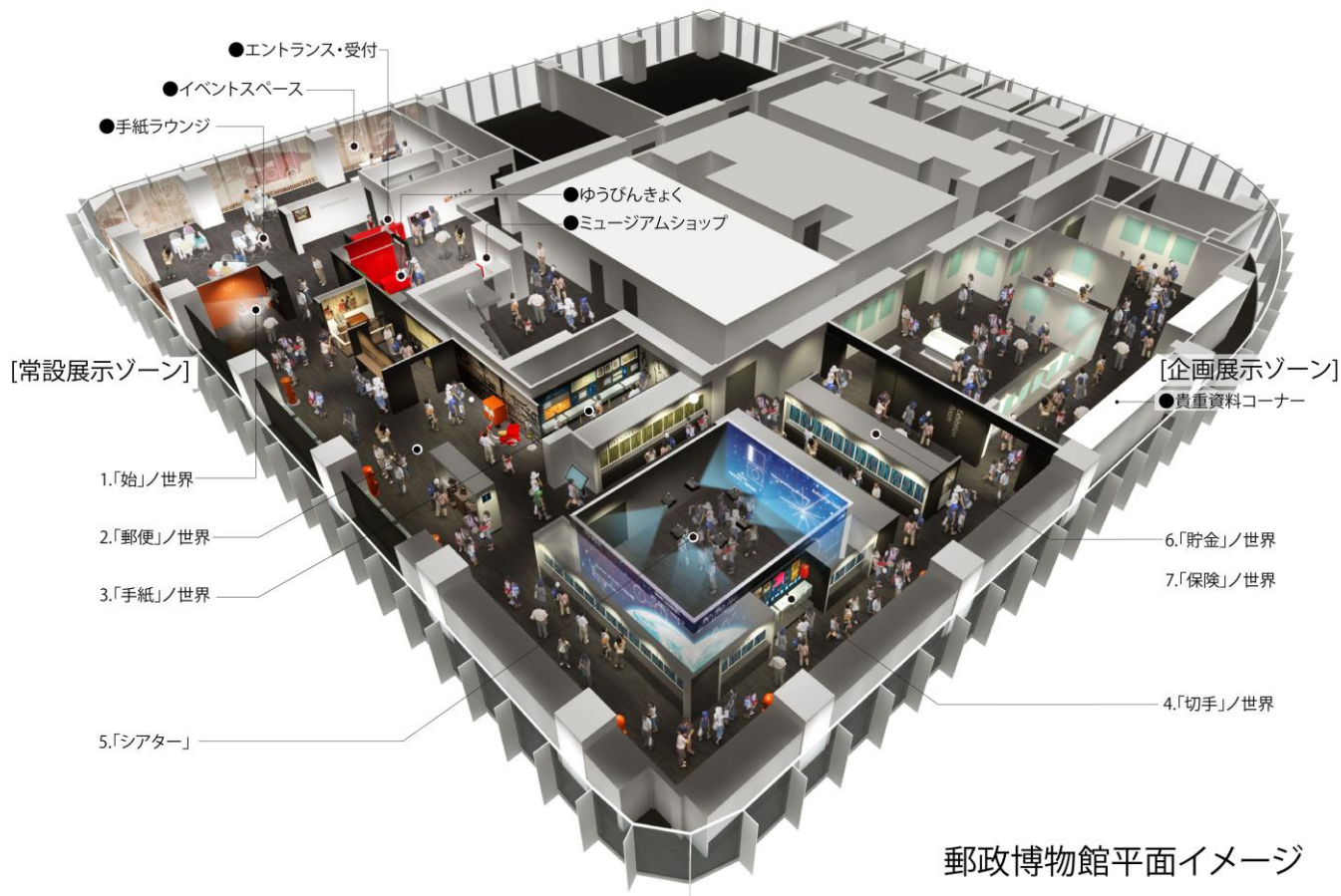
「通信総合博物館」所蔵の日本最大 33 万種の切手展示を引き継ぐ新博物館
郵政の歴史をつなぐ「郵政博物館」、展示概要が決定
 - 新博物館の目玉は、最新デジタル技術を駆使した“体験・体感コンテンツ” -

公益財団法人 通信文化協会は、このほど、2014 年 3 月 1 日(土)に東京スカイツリータウン®9 階(東京都墨田区押上)にてオープンする「郵政博物館」の展示概要を決定しましたのでお知らせします。

「郵政博物館」は、2013 年 8 月 31 日(土)に閉館した「通信総合博物館(通称:ていぱーく)」所蔵の歴史的資料を引き継ぎ、郵便および通信に関する所蔵品を展示・紹介する博物館です。館内は郵便にまつわる歴史や物語を 7 つの世界に分けて展示や映像で紹介する常設展示ゾーン、企画展示ゾーン、手紙ラウンジ、イベントスペース、ミュージアムショップ、ミュージアムゆうびんきょくで構成しています。日本最大となる 33 万種の切手展示のほか、国内外の郵政に関する資料約 400 点を展示します。

さらに「郵政博物館」では「心ヲツナグ 世界ヲツナグ」をコンセプトに、最新のデジタル技術を駆使し、郵便や通信がもたらす人と人との心のつながりを感じていただける体験・体感型のコンテンツを数多く用意しています。

また企画展示ゾーンでは開館記念特別展として、大正から昭和にかけて少女雑誌などで一世を風靡した人気作家であり、新潟県のふるさと切手に作品「花嫁」が起用された落谷虹児(ふきやこうじ)氏の作品展を開催します。



【郵政博物館の特徴】

■貴重な歴史的資料の展示

「郵政博物館」では、郵便や通信にまつわる貴重な歴史的資料を常時展示します。さらに普段の生活に溶け込んでいるポストなどの郵便関連資料を、プロダクトデザインの観点から、形・色・大きさ・素材に込められた意味とともにわかりやすく解説します。

【貴重な展示資料の一部】

- ① 重要文化財「エンボッシングモールス電信機」、「平賀源内伝 エレキテル」、「ブレゲ指字電信機」
(3つの実機はローテーションで展示を行います)
 - ② 赤い丸型ポストの始まりとなった、日本初の俵屋式ポストの再現展示 ※初展示
 - ③ 大久保利通から日本の郵便創業の父と謳われる前島密にあてた手紙
 - ④ 伊藤博文から前島密にあてた手紙
 - ⑤ 近代日本画の巨匠、美人画で有名な鏑木清方による手紙
 - ⑥ 文豪森鷗外による手紙
 - ⑦ これまでに制作された歴代の貯金通帳
 - ⑧ 幻のラジオ体操第3が収録されたレコード
- (③～⑥の中からオープン時は大久保利通の手紙を展示します。)



【エンボッシングモールス電信機】

■最新技術を駆使して魅せる7つの体験・体感コンテンツ

「郵政博物館」では、歴史的所蔵品の展示にとどまらず、手紙や郵便の根源にある「伝える」気持ちや喜びを感じてもらえる最新技術を駆使した7つの体験・体感コンテンツを用意しています。

【7つの体験・体感コンテンツ】

- ① 情報通信が始まった時代にタイムスリップしたかのように、郵便・電信・切手の歴史が移り変わっていくさまを、プロジェクションマッピング技術を駆使したユニークな映像で表現する『始まりの部屋』
- ② 身体の動きやジェスチャーなどで操作が可能な“Kinect(キネクト)”センサーを使った郵便配達シミュレーター『Go!Go!ポストマン』
- ③ タッチパネル操作で世界中の切手の中から好みの1枚を見つける『デジタル切手帳(Stamp Pond)^{スタンプ ポンド}』
- ④ 3面のスクリーンで、郵便や通信の世界観を大迫力で伝える3面『シアター』
- ⑤ 郵便貯金・簡易保険の仕組みや大切さを楽しみながら学ぶ『ゆうちょ・かんぽアドベンチャー』
- ⑥ “Kinect(キネクト)”センサーで正しいラジオ体操の動きを遊びながら学べる体感型のゲーム『レッツエンジョイ ラジオ☆体操』
- ⑦ 背景を選択し、顔写真を合成して作成したオリジナルはがきに、QRコードで音楽を添付できる『絵葉書クリエイター』

なお、「郵政博物館」の特徴や各種展示物については、公式HP(<http://www.postalmuseum.jp/>)にて12月中旬公開予定)より順次公開していきます。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

12月25日(水)まで公益財団法人 通信文化協会 郵政博物館担当/菊池 TEL03-3244-6821 FAX03-3244-6820
※2014年1月6日以降 公益財団法人 通信文化協会 博物館部/菊池 TEL03-6240-4377 FAX03-3625-2521

【博物館の構成】

■常設展示ゾーン

1. 「始」ノ世界

プロジェクションマッピングの技術を用い、時計や額縁が飾られた壁面・テーブルに、郵便・電信・切手の歴史が移り変わっていくさまをイメージ映像で投影します。

2. 「郵便」ノ世界

140年以上の歴史を刻んできた日本の郵便の資料をレプリカや模型展示とともに紹介します。

3. 「手紙」ノ世界

江戸時代の手紙など、歴史的価値の高い手紙や、著名人の手紙、絵はがきブームを彩った様々な手紙を展示します。

4. 「切手」ノ世界

「通信総合博物館」から引き続き、日本最大の所蔵数を誇る世界中の切手 33 万枚を一堂に展示します。

5. 「シアター」

約 2m × (7m + 3.5m + 3.5m) の 3 面スクリーンを使い、郵便や通信の世界観を大迫力の映像で伝えます。

6. 「貯金」ノ世界

郵便局の事業として明治 8(1875)年から進めてきた郵便貯金、そこに込められた人々の思いを写真や当時使用していた通帳等を展示紹介します。

7. 「保険」ノ世界

大正 5(1916)年に時代のニーズと共にスタートした簡易保険業務の歴史や、幻の「ラジオ体操第 3」が集録されたレコードも展示します。



【入口 受付イメージ】



【俵谷式ポスト】

■企画展示ゾーン

企画展示室では、時節にあわせ、郵便や手紙、切手などに関するさまざま企画展を予定しています。

■手紙ラウンジ

博物館入口近くにある休憩スペース。机や椅子が配置され、くつろいだり手紙を書いたりできるほか、体験・体感コンテンツもお楽しみいただけます。

■イベントスペース

企画展などに連動した様々なイベントを行います。

■ミュージアムショップ

「郵政博物館」オリジナルグッズや郵趣関連商品等を販売します。企画展関連グッズや記念切手、随時 3 万枚を超えるファーストデイカバー(切手と封筒と初日消印が一体になった郵趣用記念グッズ)をご用意しています。

■ミュージアムゆうびんきょく(向島郵便局)

東京スカイツリータウン®内に初めて開設する郵便局です。ここだけの記念の消印を企画展やイベントに合わせてご用意し、東京スカイツリータウンに来た思い出の手紙を送れます。



【「郵便」ノ世界】



【ミュージアムショップ】

【最新技術を駆使して魅せる7つの体験・体感コンテンツ(詳細)】

①『始まりの部屋』

建物や物体、空間などに映像を映し出すプロジェクションマッピングの技術を用いて、時計や額縁が飾られた壁面、テーブルに郵便・電信・切手の歴史の移り変わるさまを表現する映像を投影します。情報通信が始まった時代にタイムスリップしたかのような演出を施すユニークな内容です。



【始まりの部屋】

②郵便配達シミュレーター『Go!Go!ポストマン』

バイクでの郵便配達を疑似体験できるシミュレーションゲームです。人の動きを感知して操作できる Kinect センサーを採用し、前後左右に動かしながら、スクリーン上で郵便配達に関するミッションをこなしていきます。



【Go!Go!ポストマン】

③『デジタル切手帳(Stamp Pond)』

タッチパネル操作で切手データベースからお好みの切手を探せる検索・閲覧システムです。「花」「人物」「珍しい」「かわいい」などの既定の検索キーワードをタッチすることで、キーワードに沿った切手がランダムに画面上に表示されます。郵政博物館に展示する切手のうち 300 種が登録されています。



スタンプ ポンド
【デジタル切手帳(Stamp Pond)】

④『シアター』

この字に配置された高さ約 2m × 幅(7m+3.5m+3.5m)の3面スクリーンを使って、独特な世界観で通信・郵便の今昔を表現した映像を投影します。「伝える」をテーマに、通信手段を独自の感性でシンボリックに表現した『宇宙(そら)の手紙』、江戸から京都を旅する飛脚の道程を絵巻で描いた『江戸旅物語』、東京と大阪 2 つの中央郵便局のデザイン・特徴を断片的に切り取った『通信建築(中央郵便局)』、という3パターンの映像を用意しています。

※オープン時は『宇宙(そら)の手紙』



【シアター】

⑤『ゆうちょ・かんぽアドベンチャー』

郵便貯金・簡保の大切さを遊びながら学べるコンピューターゲームです。横にスクロールしながら、各ステージの障害や敵を貯金や保険を使ってクリアし、ゴールを目指します。お子様から大人まで楽しめるコンテンツです。



【ゆうちょ・かんぽアドベンチャー】

⑥『レッツエンジョイ ラジオ☆体操』

簡易保険の国民保険体操から生み出されたラジオ体操を、Kinect センサーを用いて楽しみながら学ぶゲーム。模範体操の映像と音声流れているモニターの前で、プレイヤーがラジオ体操を行います。自身の姿がモニターに映し出され、正確な動きを行うと星形のスタンプや丸型の光といったエフェクトが表示され、プレイヤーのモチベーションを高めます。



【レッツエンジョイ ラジオ☆体操】

⑦『絵葉書クリエイター』

世界に一つだけのオリジナル絵葉書を作成するタッチパネル式プリントマシンです。郵便に関連ある背景とキャラクターの中に自らの顔写真を挿入したり、スタンプや文字でデコレーション加工をすることでオリジナルのはがきが作成できます。また、6種類のBGMからお好きな音楽を、QRコードに変換し、添付することが可能です。読むだけではなく、新しい手紙のスタイルを楽しめます。



【絵葉書クリエイター】

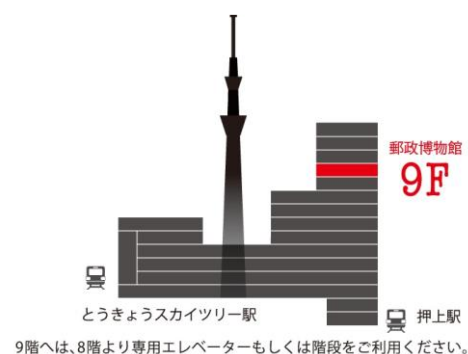
「郵政博物館」概要

- 【名称(和文)】 郵政博物館
【名称(英文)】 Postal Museum Japan
【オープン日】 2014年3月1日(土)
【住所】 〒131-8139 東京都墨田区押上1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ 9階
【コンセプト】 「心ヲツナグ 世界ヲツナグ」
【展示品数】 世界の切手33万種、その他通信・郵政に関する国内外の資料約400点
【開館時間】 10:00～17:30(入館17:00まで)
※2014年3月1日はセレモニー実施のため、開場は10:30からを予定。
追って詳細はHP等でご案内いたします。
※混雑具合によっては、時間制の入館整理券を配布することもあります
【休館日】 不定休 ※展示替え及び設備点検などにより臨時休館をすることもあります。
【TEL/FAX(一般)】 TEL 03-6240-4377 (2014年1月6日～2月28日)
TEL 03-6240-4311 (2014年3月1日～) / FAX 03-3625-2521 (2014年1月6日～)
【HP】 <http://www.postalmuseum.jp/> (12月中旬正式公開予定)
【敷地面積】 約922㎡ (最大収容人数:300名)
【入館料】 大人 300円 小・中・高校生150円
【団体】 10名から 料金は大人250円 小・中・高校生100円
【アクセス】

- 【交通】 東武スカイツリーライン:「とうきょうスカイツリー駅」下車
東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線
京成押上線 都営浅草線:「押上(スカイツリー前)駅」下車すぐ
※博物館専用の駐車スペースはございません。公共の交通機関をご利用ください。

- 【東京スカイツリータウンイーストヤード 9階へのアクセス】
エスカレーターまたはエレベーターで8階まで。
8階で8-10階専用エレベーターへ乗りかえ、9階で降り右折正面。

東京スカイツリータウン®



- 【ロゴ・マーク】



郵便・通信を象徴する手紙を携えた伝書鳩をモチーフに、心のあたたかさとポストをイメージさせる赤を基調にしたものとなっています。また郵政博物館の英語名である「POSTAL MUSEUM JAPAN」の頭文字PJにも見てとれるようなデザインに仕上がっています。

<開館記念特別展「落谷虹児展」>

開館記念の2014年3月1日から5月下旬の期間、大正から昭和にかけ少女雑誌などで一世を風靡した人気作家 落谷虹児^{ふみやこうじ}の挿絵原画などを展示する特別展を開催します。「ふるさと切手」の中でも特に人気の高い切手「花嫁」の原画を特別公開するほか、抒情溢れる少女雑誌の挿絵や口絵、個展作品、詩画集等を紹介します。

※実施概要が決まりましたら、改めてリリースにてご案内いたします。



落谷虹児「花嫁」1968年/落谷虹児記念館(新発田市)